

秋の出前講座ラッシュ

レンジャー活動として9月、10月に寝屋川市立点野小学校、11月に門真市立上野口小学校の4年生総合学習の出前授業をおこないました。両校とも担当される先生からレンジャー事務局にオファーがあったもので、淀川に関する内容を主軸に据えたものです。2か月ほど前から担当される先生と希望される内容を聞き、打ち合わせ、レンジャー事務局が作成したPowerPointの内容を調整して臨みました。

点野小学校の4年生は1年間「水」をテーマにした学習に取り組んでおり、「川について学びたい」ということだったので、身近な河川である淀川の概要、自然環境や生き物について、淀川の課題についてPowerPointに沿って話す1回目と淀川の魚(水槽展示と解説)、外来種問題について取り上げた2回目の全2回シリーズでおこないました。

1回目は総論的な内容でもあり、PowerPointもきれいに仕上がっていますが、ちょっと大人向けかな?との印象を持ったので、なるべく身近な地名や具体的な例をあげて、対話形式を心掛けました。

2回目は、数日前に採集しておいたオイカワ、ニゴイ、カネヒラ、カマツカなどをプラケースに展示し、質問などを受けながら黒板を使って進めました。

上野口小学校では理科室を使用し、2クラス合同で2時限通しての授業となりました。4年生はSDGsをテーマに取り組んでいるので、PowerPointの内容に加えて点野の川づくり活動や日本の里山にみられる人と自然の関わりに重点を置き話しました。後半は担当する先生からのリクエストで水質調査(パックテスト)実習とまとめをおこないました。

淀川が身近な河川である点野小学校では共感を得やすかった一方、上野口小学校では淀川は遠い存在であり、全体を通して反応も薄い印象でした。身近な河川である古川や蓮根栽培のことなどを盛り込めばよかったかなと思っています。

使用する図の著作権の問題でレンジャー事務局が用意したPowerPointを使用しましたが、自作するために平素から記録写真を撮りためていくことの必要性を痛感しました。



<玉井 理恵>

自宅裏の用水路にホンDIGツネが現れた!

自宅裏の用水路には色々な生物が来るので、昨年からトレイルカメラを設置しています。アライグマやヌートリアなどの哺乳類、アオサギ、コサギ、カルガモなどの鳥類からクサガメ、ミシシippアカミガメ、スッポンまで色々な生き物の姿を見ることができて面白いです。そんな中、2023年11月16日の真夜中に特徴のあるシッポを持つ動物の姿が一瞬だけ写っていました。近くに田んぼはありますが、まさか住宅街の用水路に現れるとは思いませんでした。シッポの形から間違いなくホンDIGツネです。続いて2024年1月11日に再び姿を現しました。大阪府(発見場所は寝屋川市内)ではキツネは、絶滅の危険性が最も高い絶滅危惧I類に指定されています。このキツネは、昼間は何処にいるのでしょうか。

<新城 賢浩>

